

「The Magic of Children」

(国際ロータリー第2690地区)

倉吉東ロータリークラブ週報

KURAYOSHI-EAST ROTARY CLUB WEEKLY

会長 藤井 武親
副会長 酒井 義人
幹事 向井 康英



例会場 倉吉シティホテル2F TEL:0858-26-6111

http://www.east-rotary.jp

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail: kurayoshi@east-rotary.jp

事務所 〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル3F

TEL: 0858-24-6300 FAX: 0858-24-6301

令和6年10月3日 (木) 第2615回 例会報告 No.2480

ソング 国歌・奉仕の理想
慶事 伊藤等会員のご息女ご結婚へ
クラブよりお祝いの贈呈



食事 洋食弁当

会長時間

(ChatGTP=人工知能(AI)を使った会話型のコンピュータプログラムを借りて)

質問:書籍「甘えの構造」における利点とはなんですか?

答え:土井健郎の「甘えの構造」における利点は、主に以下の点にまとめられます。

1.相互扶助の促進

甘えの関係性は、他者に対して依存することで、サポートを受けると同時に、他者を助けることに繋がります。この相互扶助のメカニズムは、強い絆を生む要因となります。

2.情緒的な安定

甘えを通じて他者と深い信頼関係を築くことで、感情的な安定が得られます。特に、親子や恋人との関係において、安心感を持つことが重要です。

3.自己成長の機会

他者との甘え関係は、自己理解を深めたり、自己を見つめ直す機会を提供したりします。また、相手との関係によって新たな視点を得ることが出来ます。

4.文化的な連帯感

甘えは、特に日本社会において、文化的な連帯感や共同体意識を生み出す要素として機能します。社会全体が一体感を持つことができる手助けをします。

5.非言語的なコミュニケーション

甘えは言葉だけでなく、身体的な接触や表情からも表現され、非言語的なコミュニケーションを可能にします。これにより、繊細な心の動きが表現されやすくなります。

土井は、「甘え」がただの依存ではなく、深い人間関係を築くための前向きな要素であると考え、この構造を理解することが人間関係の改善や心理的健康に寄与するとしています。

幹事報告(野口圭太郎副幹事)

- 雑誌「ロータリーの友」10月号
- ロータリーレート2024年10月=1ドル142円
- 財団室NEWS10月号
- ガバナー月信第4号(表紙に当クラブのポリオ募金活動の写りが載っています)

- 倉吉中央RCより 創立35周年記念誌
- 倉吉ライオンズクラブより 会報誌第7号
- 来週10月10日(木)は例会終了後、定例理事会を開催します。理事の皆様はご出席をよろしくお願いいたします。
- ホームページに9月分の週報と10月予定表をアップしていますのでご覧ください。

委員会報告

- 雑誌「ロータリーの友」10月号の紹介
前畑俊幸雑誌委員長

○出席報告

会員数 49名
出席会員 31名 欠席会員 17名
免除会員 1名
本日出席率 64.58%

○スマイル報告

- ・伊藤等会員:長女の結婚お祝いを頂戴しましてありがとうございました。
- ・前畑俊幸会員:おかげさまで当社が創業100周年を迎えました。本日卓話をさせていただきました。
- ・川本博文会員:桑名慎太郎会員:本日卓話をさせていただきます。
- ・中野雅斗会員:琴桜関の大関昇進披露宴に参加させていただきました。
- ・本田清実会員:前髪を切りすぎました。

卓話



前畑俊幸雑誌委員長



川本博文
友好ロータリー委員長



桑名慎太郎会員増強・退会防止委員長

閉会

Rotary 四つのテスト
言行はこれに照らしてから

- 一 真実かどうか
- 二 みんなに公平か
- 三 好意と友情を深めるか
- 四 みんなのためになるかどうか



2024-25年度国際ロータリーのテーマ
RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック
The Magic of Rotary